

(別紙様式)

令和4年度 赤穂市学校評価報告書

学校名	赤穂市立有年小学校
-----	-----------

1 本年度の学校経営方針

- ◆ 学校教育目標 自他を大切に、夢や志をもって学び続ける児童の育成～笑顔あふれる有年っ子～
- ◆ めざす児童像 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身に付け、自信と誇りをもつ児童
- ◆ めざす教師像 主体的な研修と授業実践に努め、教育の専門職としての力量を高める教師
- ◆ めざす学校像 一人一人のよさを引き出し、違いを認め、高め合う学校

2 本年度の学校重点目標

- 1 人権尊重の精神を育み、全教育活動を通して自己有用感や達成感を味わわせ、自尊感情を培う
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業づくりを実践する
- 3 カリキュラムマネジメントを推進し、PDCAサイクルにより、教育内容を絶えず見直す
- 4 GIGAスクール構想をふまえた情報教育の充実と情報活用能力を育成する
- 5 「地域ともにある学校」の充実を図り、学校規模のよさを生かした教育を発信する
- 6 児童一人一人のニーズに応じた合理的配慮の提供や校内支援体制の充実を図る

総合的な学校関係者評価

- 基本的な感染予防対策を徹底しながら、教育活動を再開できたことで、学校の取組や児童の様子が学校だより、ホームページ等で家庭や地域にも伝わった。
- 前年よりも地域行事に参加する機会が増え、地域と児童が活動することができ、ふるさと有年にふれる活動ができたのはよかった。
- 「地域とともにある学校」として、学校・家庭・地域の協働体制が構築されている。
- コロナ禍でも、落ち着いた学校運営がなされ、児童の成長を支えていることが感じられた。
- なかには、あいさつの声が小さかったり躊躇したりする子もいる。元気なあいさつのこえをいつでも、どこでも聞かせてほしい。
- 地域学習によって、ふるさとを大事にし、誇りを持てるようになってほしい。地域の素材や人材を生かした教育活動に今後の協力していく。
- 登下校の道で木の伐採や整備が必要なら、協力するので、声をかけてほしい。
- コミュニティ・スクール5年が経過した。今後も学校・家庭・地域の連携を進めていきたい。

3 自己評価結果 (A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組) 評価指標および目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
確かな学力	項目 指標	主体的・対話的で深い学びを保障する授業づくり めあてとまとめを配置し、見通しをもって学べる授業	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標と指導と評価の一体化を具体的に推進する。 ・自主学習の習慣化と内容の深化を図る。 ・児童の情報共有を充実させ、記録化する。 ・ICT機器の活用を充実させる。 ・キャリアノートの活用も推進する。
	項目 指標	確かな学力の定着 家庭学習の手引き、学習タイム、読書タイム		
	項目 指標	特別支援教育の充実 個に応じ、指導計画に基づいた指導		
	項目 指標	キャリア教育の推進 キャリアノートの活用		
	項目 指標	ICTを活用した授業改善 電子黒板やタブレットの効果的活用		
	項目 指標	人権教育の推進 互いを尊重し合い心の居場所となる学級づくり道		
豊かな心	項目 指標	道徳教育の充実 徳の時間(年間35時間)の確実な実施	A	<ul style="list-style-type: none"> ・構造的な板書を充実させる。道徳科では授業時数確保を常に意識する。 ・情報モラルに関する保護者への啓発を進める。 ・毎月のアンケートに加え、きめ細かな児童観察に努める。 ・隠れたカリキュラムを意識する。
	項目 指標	いじめ・不登校問題への積極的な対応 いじめ対応マニュアルに基づく早期発見・早期対応		
	項目 指標	開発的生徒指導の推進 児童の内面理解に基づくカウンセリングマインドの実行		
	項目 指標	体育・保健学習の改善・充実 体育のあゆみの活用、業間マラソンの年間実施		
健やかな体	項目 指標	日常的な運動や遊びの奨励による体力づくり 全員遊び、縦割り班遊びの継続	B	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具や道具の整備を推進する。 ・運動に親しむ機会を増やし、普段からの体力向上を図る。 ・教育相談体制を充実させる。 ・基本的な感染症予防対策の徹底と継続を図る。
	項目 指標	家庭と連携した生活習慣の改善と確立 早寝早起き朝ごはん運動の啓発と充実		
	項目 指標	家庭と連携した生活習慣の改善と確立 早寝早起き朝ごはん運動の啓発と充実		

学校関係者評価

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律も整っており、1時間の学習の流れが見える授業づくりがなされている。 ・非常にきめ細やかに一人一人に対応し、ICT機器も取り入れながら、コロナ禍における学力保障を進めておられることに、地域として信頼を寄せている。 ・英語専科が配置されて4年目となる。英語教育の拠点校として、専門性を生かした指導がなされている。
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと有年学習やアートマイル国際交流の取組は、方法を工夫して教育活動を推進されている。ふるさとを意識し、世界的な視野をもった人材を育てるため、今後も指導の充実を図ってほしい。 ・人権教育の実践発表の成果を今後の教育活動に生かし、児童が互いを思いやるあたたかい学校づくりを進めてほしい。
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策(マスク、手洗い、消毒、換気等)の徹底がなされ、年間通して元気に過ごすことができた。 ・子ども達の運動の機会が確保できにくい1年であった。今後、体力づくりについて対策を練る必要がある。

	項目 健康・食育・安全教育の充実 指標 感染症やケガの予防、食育指導、教育相談の充実	アンケート 記録		・不要な物を撤去し、けがの発生を未然に防ぐ。		
安全・安心	項目 危機管理体制の確立 指標 マニュアルの改善と研修、安全点検	アンケート 記録	A	・退勤前の教室点検や施錠を習慣づける。 ・報告・連絡・相談の日常化をさらに意識し、実行する。 ・掲示物や放送内容を定期的に点検する。 ・生徒指導委員会を通して課題と方策を共有する。	◎	◎
	項目 学習環境の整備 指標 花や観葉植物がある、心安らぐ教室環境	アンケート 観察				
	項目 言語環境・掲示物の整備 指標 情操を培う落ち着いた校内放送、整った掲示環境、	アンケート 観察				
	項目 校内美化活動の推進 指標 自己を見つめ心を育む無言清掃	アンケート 観察				
学校組織力	項目 教育公務員としての高い使命感と倫理観 指標 豊かな人間性、真摯な姿勢と使命感、服務規律の遵守	アンケート 観察	A	・内部講師による校内研修を一層進める。 ・保護者や地域の声に対して、即時対応し、見える化する。 ・評価結果の経年変化を追い、PDCAサイクルの活性化を図る。 ・定時退勤日を意識づけ、重点項目は実行する。 ・ハラスメント防止担当者を設け、職場環境の維持向上に努める。	◎	◎
	項目 教職員の資質向上と協働体制の確立 指標 OJTの実施と校内研修の充実、報告・連絡・相談の徹底	アンケート 観察				
	項目 学校評価の改善・充実 指標 学校経営方針に則った実践と評価の一体化	アンケート 記録				
	項目 学校業務改善と効率化 指標 定時退勤日の完全実施、記録簿による勤務管理	アンケート 記録				
	項目 職場環境の維持・向上 指標 労働安全衛生委員会を中心とした実態把握と改善	アンケート 記録				
課題教育	項目 情報教育の充実 指標 ネットリテラシー、情報モラル教育の推進	アンケート 記録	A	・情報モラルの指導を繰り返し複数回行う。 ・親子福祉体験学習の充実を図る。 ・外国語の専科指導を充実させ、児童の英語力の向上を図る。 ・専門家や地域ボランティアと連携した体験活動を進める。 ・防災・安全教育の充実を図り、命を守る意識と態度を養う。 ・稲作文化に根ざす「ふるさと有年学習」の指導の充実を図る。	◎	◎
	項目 福祉教育の充実 指標 福祉体験活動の充実	アンケート 観察				
	項目 グローバル化に対応した教育の充実 指標 外国語活動、アートマイル活動、ふるさと学習の充実	アンケート 記録				
	項目 環境教育の充実 指標 地域の里山や川での体験活動	アンケート 児童ノート				
	項目 防災教育の充実 指標 地域水害の教訓を生かした防災訓練	アンケート 児童ノート				
	項目 体験活動、ふるさと意識を醸成する教育の充実 指標 地域の伝統文化を教育課程に位置づけた学習の充実	アンケート 児童ノート				
	項目 コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校 指標 地域人材の活用、地域行事への参加	アンケート 観察				
コミュニティ・スクール	項目 積極的な情報発信 指標 各種お便り・ホームページ・参観日等による発信	アンケート 記録	A	・学校運営協議会の充実を通して住民の参画を推進する。 ・挨拶等により地域住民と児童と保護者の連携を深める。 ・関係機関代表者への協力要請を進め、学校応援団を組織する。	◎	◎
	項目 地域関係機関との連携 指標 学校運営協議会組織の立ち上げ準備	アンケート 記録				

自己評価における特記事項

※ 達成状況の評価は、教職員の自己点検を点数化し、平均点を3段階で表している。(4点満点)

- A 3.5以上
- B 2.8以上3.5未満
- C 2.0以上2.8未満
- D 2.0未満

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

・学校規模の良さを生かした教育の一層充実を図ってもらいたい。